

2021年度（令和3年度）事業計画

一般財団法人大阪府バスケットボール協会

<競技>

大会名	期日	会場	備考
第36回大阪招待高校バスケットボール大会	4月3日・4日		中止
大阪府民スポーツ大会 バスケットボール競技	5月4日 ↓ 7月10日	東淀川体育館 千島体育館 丸善インテックアリーナ大阪	予選リーグ戦 決勝トーナメント戦
第76回国民体育大会 近畿ブロック	8月21日 ↓ 22日	丸善インテックアリーナ大阪	
第76回国民体育大会	9月26日 ↓ 30日	三重県 津市	
第68回大阪総合 バスケットボール 選手権大会	8月28日・29日	箕面市立第1総合体育館	全日本選手権大阪府代表決定戦を兼ねる
第97回天皇杯全日本 バスケットボール 選手権大会	9月11日 ↓ 2022年3月12日	未定	Bリーグクラブ主管
第88回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会			
1次ラウンド	9月11日・12日	未定	
2次ラウンド	11月27日・28日	堺市金岡公園体育館	大阪府協会主管
ファイナルラウンド	12月16日～19日	未定	
大阪バスケットボール カーニバル	2022年2月27日	おおきにアリーナ舞洲	

第23回Wリーグ 大阪大会開催予定

開催日	開催会場	対戦カード	
10月30日(土)	岸和田市総合体育館	Wリーグ	秋田 vs 日立 HT
10月31日(日)			トヨタ紡織 vs デンソー
10月31日(日)	おおきにアリーナ舞洲 (大阪エヴェッサと共催)	Wリーグ	日立 HT vs 秋田
11月14日(日)			デンソー vs トヨタ紡織
11月14日(日)	堺市立大浜体育館	Wリーグ	シャンソン vs トヨタ自動車
11月20日(土)			トヨタ紡織 vs ENEOS
11月21日(日)			日立 HT vs 三菱電機
11月20日(土)	堺市立大浜体育館	Wリーグ	ENEOS vs 新潟
11月21日(日)			三菱電機 vs 日立 HT
11月21日(日)			新潟 vs ENEOS

<T O>

1. 重点目標

- ・ トップリーグを担当できる知識と技能を持つ T0 担当者の育成。
- ・ FIBA Statistician ライセンス及び FIBA T0 ライセンスを取得できる知識と技能を持つ T0 担当者の育成。

2. 活動方針

- ・ 定期的に講習会を実施し、ルールの理解を深め、技能を磨く。
- ・ トップリーグに限らず、天皇杯・皇后杯や3×3などカテゴリーを越えて T0 担当者を派遣する。
- ・ JBA が主催する T0 講習会等に積極的に研修生を派遣し、研鑽を積む。

3. T0 講習会 実施計画

No.	開催日	研修会・研修使用大会等	会場	備考
1	2021.04.10 (土)	新規 T0 希望者 ガイダンス・講義	大阪府協会事務局	ガイダンス 講義
2	2021.04. 下旬	中学生 or 高校生 練習試合	未定	実技講習
3	2021.05.23 (日)	大阪府民大会	千島体育館	実技講習
4	2021.06.19 (土) or 20 (日)	地域リーグ	金岡公園体育館	実技講習
5	2021.06.26 (土)	大阪府民大会 (最終日)	フィットネス 21 東淀川体育館	実技講習
6	2021.07.17 (土) 18 (日)	社会人連盟 1部リーグ戦	八尾市総合体育館 美原体育館	実技講習
7	2021.08.21 (土) or 22 (日)	ミニ国体	丸善インテックアリーナ大阪	実技講習
8	2021.08.29 (日)	大阪総合	箕面市第1総合体育館 (スカイアリーナ)	実技講習 ルールテスト

4. T0 派遣 計画

東京オリンピック	【T0】野崎 和美 ・ 町中 翔太 【スタッフ】板垣 善久を派遣予定
東京パラリンピック	【T0】板垣 善久を派遣予定
B. LEAGUE	大阪エヴェッサ ホームゲーム (30 試合) へ のべ 210 名を派遣予定
Wリーグ	大阪府開催の 10 試合へ のべ 20 名を派遣予定
天皇杯	2 次ラウンドへ T0 担当者を派遣予定
皇后杯	2 次ラウンドへ T0 担当者を派遣予定
3×3 連盟	3×3 日本選手権大阪府大会 (オープン・U18) へ 派遣予定

その他、各連盟や全国大会等への派遣依頼があれば、積極的に派遣する。

<広報>

大阪のバスケットボールの情報源として、充実した内容を発信していく。

1. ホームページの充実

大会情報や結果、新着情報などの情報を始め、各委員会・連盟と連携



2. SNS の更なる活用

①Facebook でのインサイト（利用情報）を活用

アクセス状況が高い時間を分析し、登録者が Facebook を利用している時間帯での情報発信。

②新たな Facebook・Twitter 登録者（ファン）の開拓

SNS 利用者へ、スポンサー獲得や大会・イベント告知に広告利用を行い、非登録ユーザーへのアプローチを行う。

③Facebook や Twitter を利用した企画

主管大会等を通じて、SNS を利用したユーザーへの有効なイベント企画を模索する。

④新たな SNS 媒介の活用

Instagram を活用し、新たなユーザーへアプローチを行う。

3. 動画配信を利用した発信強化

Youtube 等、動画を利用した発信

文章や写真では伝わらない大会の様子を動画などのコンテンツを利用し、積極的に発信する。

<技術統括>

1. 方針

昨年度、計画していた多くの事業が新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い中止を余儀なくされたこともあり、2021年度は事業の再開と継続性の確認に重点を置いてすすめていきたい。

(公財)日本バスケットボール協会より打ち出された「JAPAN BASKETBALL STANDARD 2016」の理念を受け、「大阪でバスケットボールを楽しむ人が増え、バスケットボールを楽しめる環境が充実し、そして大阪から日本代表選手が生まれ世界で活躍し、それが大阪や日本社会を元気にしていくこと」を理念として事業をすすめて6年目となる。各委員会がこれまで構築してきたものを更に充実させ、場合によっては各委員会が横断的に協力し、登録チームや選手に対して「育成」・「強化」・「普及」をはかるために事業をすすめていきたい。

「育成」においてはDC事業が7年目を迎えたわけだが、昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響でほとんどの事業が延期もしくは中止を余儀なくされたため、DC活動の段階的継続的な育成としての活動ができなかった。2021年度は各カテゴリーにおいてその状況での知見等にもとづきながら作成する新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドラインをもとに、各事業の開催に向けて取り組んでいきたい。特に育成事業の柱であるU12の練習会、U13の5ブロック練習会、U14の8ブロック練習会と大阪DC交流大会、U15の練習会を開催し育成に努めたい。また、昨年度からの課題であったU15とU16(国体少年男女)とのつながりを考えた体制づくりをすすめていきたい。その実現に向けて、国体少年男女のスタッフにおいてU15から1名加わる予定で計画している。指導者養成では2019年度よりコーチデベロッパー制度導入など、コーチに関わるライセンス制度が大きく変更された。今後も制度の変更にしっかりと対応できるよう、研修の充実など、コーチにとっても安心・安全な環境を構築するために適切な支援をしていきたい。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で対面形式の研修が制限される中、オンラインでの研修会開催に向け体制を整えていきたい。

「強化」においては2019年度国民体育大会から少年種別がU16に変更されたため、成年種別でU17、U18のいわゆる高校生2・3年生も対象選手となった。選手選考やスタッフ構成においてU18から1名加わるようになっており、更なる強化に向け取り組んでいきたい。

「普及」50歳以上のシニア大会の開催を通じ普及に努めていきたい。また、昨年度まで事業として開催していた「ドリームカップ」は普及活動の一端を担うものであったが、クラブの大会が増加傾向にあることや大会の趣旨等を踏まえ、第23回大会をもって終えることとなった。

2. 今後の課題と具体案

(1) 強化事業

①国体(成年種別)事業

- ・ トップリーグを引退した選手の人材活用
- ・ 軸となるチーム、選手の発掘
- ・ 「強豪大阪」に向けたコーチ、指導者の選考
- ・ 学連、社会人連との連携
- ・ 強化練習会、合同練習会の充実、人材発掘
- ・ 若手スタッフ、女性スタッフの発掘と育成
- ・ 継承性を考慮したスタッフ選考

②日本スポーツマスターズ2021への選手選考、派遣

2021年9月18日(土)～21日(火) 開催地：岡山県

(2) ユース育成事業

- ・ DC事業組織の確立、伝達講習の充実
- ・ 各地区における講習会の開催、特にミニ連との連携
- ・ カテゴリーを越えての交流

- ・強化委員会、指導者養成委員会、普及委員会、競技部との連携
- ・国体少年種別、DC事業の発展と充実、中高一貫指導体制、マニュアルの確立、長身者の育成

(3) 指導者養成事業

- ・JBA公認コーチの登録管理
- ・JBA公認コーチ養成講習会の開催
- ・指導者講習会の企画、開催

(4) 普及事業

- ・シニア大会開催
2021年9月4日(土) 会場：八尾市立総合体育館(八尾ウイング)

(5) 3x3事業

- ・日本選手権大会への選手派遣、強化

＜医科学＞

1. メディカルチェック（フィジカルチェック含む）の実施

主に中学生、高校生、大学生で公募。土日祝を利用して1件につき30人以上で開催する。受益者負担500～1,000円/人を徴収（基本は500円、大阪府外登録者やオプション運動指導の回数増等で増額）。必要機材を順次揃えていく。特に足首ねんざの予防に力を入れ、エコー検査を中学生から推進していく。また、メディカルチェックの結果を各選手に認識させ、起きやすい傷害を予防するトレーニング方法やケガをした時のリハビリ等の運動指導を行う。

2. 講習会の開催

一般の現職者や指導者、審判、競技者等の対象者の範囲を大きく広げて講習会を開催。オンラインを中心に行い、遠方の講師等も招喚して幅広い内容で実施予定。年間5回程度予定。（60分3回、90分2回）

3. 研修会・勉強会の開催

医科学委員、サポートスタッフ（学生を含む）、メディカルチェックスタッフ、有資格の希望者等を募り「勉強会」を開催しスタッフの各種レベルアップをはかる。年間で3回程度開催予定。また、受講者の中から本委員会への貢献度、人格面、経験値などを考慮して活躍を期待できるスタッフに日本スポーツ協会アスレティックトレーナー講習会参加の推薦を当協会に依頼する。

4. トレーナーブースの設置

当協会、各連盟主催の大会時、トレーナーブースを設置し、選手に対する救護、テーピング、アイシング、ストレッチ指導、トレーニング指導、リハビリ指導などのコンディショニングを業務とする。業務に必要な資材の充実を図る。現場ではLINE動画などで間接的に医科学委員のドクターに指示を仰ぐ等をして、幅広く対応ができるように各分野のスタッフが関わるように運営する。

5. 大会へのドクター派遣

当協会や各連盟主催の大会、全国大会、Bリーグ、Wリーグ、審判部フィットネステストなどへドクター派遣やドーピング検査への協力を行う。

6. DCなど協会事業への協力

DC中央講習会の救護やメディカルチェックに協力する。

DCにおいては、地区練習会での傷害予防等の内容で運動指導の回を設ける。

7. 協賛医院・企業の募集

ホームページの協賛医院・企業を募集する。

8. 学会発表

5年間の傷害予防調査の結果やメディカルチェックの結果をもとに日本体力医学会、日本臨床スポーツ医学会や日本バスケットボール学会にて発表を行い、傷害予防についての啓発を行う。

9. ホームページの作成・充実

現在存在する協会ホームページ内の医科学委員会ページの内容の充実化として、活動記録や傷害予防啓発の発信などをおこなう。

10. U12 チームへの医科学の介入

指導実践研究グループ(C&PDSA)による枚方体育協会の地域型総合クラブへの傷害予防を目的とした医科学委員の介入を行う。

11. 医科学委員会会議の開催

奇数月第3土曜日に会議を行う。委員だけでなく医科学委員会の構成する登録サポートスタッフもオブザーバーとして参加してもらう。

<審判>**1. 2021年度 大阪府所属審判員**

- S級 5名：浅野祐樹（中）飯尾勝紀（高）茅野修司（社）高野晃平（社）村田尚美（社）
 A級 10名：石川淳也（中）大倉哲也（高）太田令菜（高）北村 仁（高）清瀬未喜（社）
 田中真規（社）堂國和昭（ミ）花谷槿子（社）細見竜太（社）宮城由紀（社）

2. 重点目標

- ・『公平性・一貫性のある判定力』を持つ審判員の育成
- ・プレイヤー、ベンチ、観客から信頼を得る審判員の育成
- ・3P0担当審判員の育成
- ・次世代を担う審判員の育成
- ・B、A、S級ライセンス昇格者の育成

3. 方針

- ①バスケットボール技術向上の為に正しいルールの適応と実践
実技及び座学講習会を実施すると共に映像を使用しての分解講義の実施
- ②大きな枠組み以外に細分化した講習会の継続実施
3P0：2P0：指名強化：女性：BCD級：U30：Y0C（ヤングオフィシャル）を
対象とした講習会の実施
- ③カテゴリー、連盟を超えた各種大会への審判交流の実施を行い、各連盟で行う講習会へも積極的に参加する
- ④他府県及び他ブロックへの審判派遣
大阪府以外への審判員派遣を行い、普段と違う環境での活動を行う
- ⑤審判員として常に向上心を持ち、研鑽する努力を積極的に行う
- ⑥審判委員会HPの活用
各種大会及び結果、報告書を掲載し情報の共有と提供を行う

4. 講習会計画

講習会・研修会 名	時 期	備 考
2 (3) P0 講習会 (JBA)	5 月	指導部・連盟推薦
3P0 講習会 (JBA)	6 月	上級+指名審判員
女性講習会	4~8 月	女性審判員
A級候補審判強化講習会	5~8 月	指名B級審判員
B・C・D級講習会	5~10 月	B、C、D級審判員
U30 (Y0C) 勉強会	通年	審判委員会指名
A級研修会 (近畿ブロック)	8 月	A級審判員
2021年度 昇格審査会	5 月	連盟長推薦
JBA ルール伝達講習	2~3 月	各連盟長
インストラクター研修会	通年 2 回	3級インストラクター
U25 審判研修会	6 月	審判委員会指名

但し、新型コロナウイルスの影響により、計画が中止、延期等の措置の場合あり